

[I] 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。紛らわしい文字での記述は不正解となるので、丁寧な字で解答すること。欄外に書き込まれた解答は無効とする。なお引用した資料には省略したり改めたりしたところがある。解答用紙は(その2)を使用すること。

A. 次の文章を読み、設問に答えなさい。

人類史は狩猟・採集を中心とした獲得経済から農耕・牧畜による生産経済に移ることによって人口が飛躍的に増え、文明発展の基礎が築かれたと言われる。農村経済では円環的な時間観念が一般的であり、人間は種まきから収穫までのサイクルを繰り返しながら歴史を紡いできた。他方でユダヤ教やキリスト教は、神による世界の創造から終末に至る直線的な時間観念を導入した点が特異であるとされる。

だが、終末観そのものは古代のイラン(ペルシア)を中心に流布した(ア)の教義にもみられる。(ア)は善悪二元論を特徴とし火や光の崇拝が重視された宗教で、終末には(イ)とアーリマンの善悪二神の戦いがおこなわれると考えられた。最終的な戦いで悪が滅びたのちに下されるのが(ウ)であり、その結果、地上には世界の誕生以来のすべての死者が復活し、天から彗星が降ってくると考えられた。良いことをおこなった者は彗星に飲み込まれても痛みを感じないが、悪いことを行った者は苦痛で泣き叫んでしまうという。救われた魂のみの世界がその後、永遠に続く信じられた。

問 1 下線部(1)について、ネアンデルタール人にかわっておよそ4万2000年前にあらわれ、現生人類の直接の祖先にあるとされる、フランスで発見された新人の名称を解答欄(1)に記しなさい。

クロマニヨン

問 2 下線部(2)について、ユダヤ教成立のきっかけになったとされる、新バビロニアのネブカドネザル2世時代の出来事の名称を解答欄(2)に記しなさい。

バビロン捕囚

問 3 (ア)

問 4 下線
(ア)

問 5 (

問 6]
作

問 3 (ア)に入る宗教の名称を解答欄(3)に記しなさい。

ゾロアスター

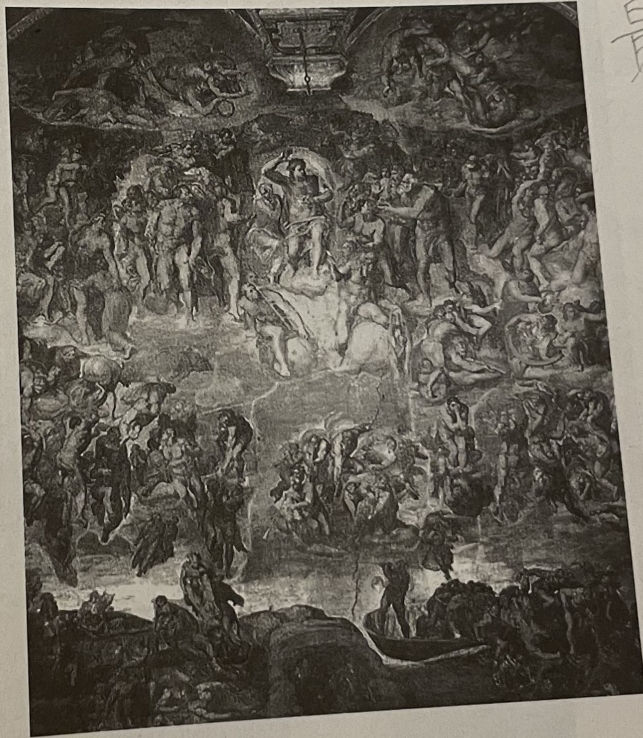
問 4 下線部(3)について、ササン朝の王ホスロー1世の時代にまとめられた
(ア)の教典の名称を解答欄(4)に記しなさい。

アヴェスター

問 5 (イ)に入る善神の名称を解答欄(5)に記しなさい。

アフラマズダ

問 6 以下の絵はキリスト教における(ウ)の概念を描いたミケランジェロの
作品である。(ウ)に入る語句を解答欄(6)に記しなさい。



最後の審判

問 7 下線部(4)について、万物の根源に関しては古代ギリシアの自然哲学者たちがさまざまに議論したことが知られている。「哲学の父」とされ、万物の根源を水であるとした人物の名前を解答欄(7)に記しなさい。

アリス

B. 次の資料を参照しながら、設問に答えなさい。

資料(あ) 以下は1095年のクレルモン宗教会議での演説である。

最愛の同胞諸君。至上者たる法王にして、神に許されて全世界の最高聖職につくわたし、(エ)は…(中略)…。…あなた方は東方に住む同胞に大至急援助を送らなければならない。…その理由は、⁽⁵⁾トルコ人がかれらを攻撃し、またローマ領の奥深く…進出したからである。

資料(い)



資料(う)



問 8 資料
1 回
答欄

問 9 資
の名

問10 ?
要

問11
カ

問12

問1

問 8 資料(あ)について、この演説でイスラーム教徒からの聖地の奪取を目指す第1回十字軍の必要性を訴えた、(エ)にあてはまるローマ教皇の名前を解答欄(8)に記しなさい。

ウルバヌス2

問 9 資料(あ)の下線部(5)について、救援を要請した「東方に住む同胞」にあたる国の名称を解答欄(9)に記しなさい。

東ローマ帝国

問10 資料(あ)の下線部(6)について、シリア・アナトリアに領土を拡大し、十字軍要請のきっかけを作ったトルコ系政権の名称を解答欄(10)に記しなさい。

ルーム＝セルジューク

問11 資料(い)は、第3回十字軍のきっかけをつくったクルド人のスルタンを描いたとされる絵である。このスルタンの名前を解答欄(11)に記しなさい。

メサラテン

問12 第3回十字軍においてアッコンの攻防戦で活躍し、資料(い)の人物と講和をおこなったイングランド王の名前を解答欄(12)に記しなさい。

メサラテン = 1147-1157

リチャード2世
74-1191

問13 教皇による東西教会統一の目論見や、国王・騎士・商人の利益追求など、十字軍の背景にはさまざまな欲望や野心があったとされる。第4回十字軍では交通路を確保すべくヴェネツィア商人の協力をあおいだために、聖地奪回という本来の目的からはずれてコンスタンティノープルを占領することになった。このときに建てられた国の名称を解答欄(13)に記しなさい。

ラテン帝国

問14 資料(5)は、第4回十字軍の逸脱した行動について当初、参加者を破門するなどの厳しい対応をしめしたローマ教皇を描いたとされる絵である。この教皇の名前を解答欄(14)に記しなさい。

インノケンティウス3

問15 十字軍の直接的・間接的な影響でヨーロッパ中世世界には東方の先進文明圏から文物が流入し、貨幣経済の浸透がすすんだ。イギリスでは、貨幣地代の普及によって自立し始めた農民を押さえつけようとする領主に対して反乱が起こった。「アダムが耕しイヴが紡いだとき、だれが貴族であったか」と説教をおこない、同地の農民反乱に思想的基盤を与えた人物の名前を解答欄(15)に記しなさい。

ジョン・ボール

フランス科学アカデミー
3162-10

〔Ⅱ〕 次の文章A・Bを読んで、以下の設問に答えなさい。解答用紙は(その1)を使用すること。

A 中央アジアの政治や文化などの変遷を説明した次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

中央アジアという言葉の定義はさまざまだが、現在のウズベキスタン共和国やキルギス共和国などの地域を西トルキスタン、中華人民共和国のウイグル族自治区である(1)を東トルキスタンと呼ぶことがある。その背景の一つは、さまざまな民族が興亡をくりかえす中で、6世紀に(2)が勢力を拡大したためである。

中央アジアではユーラシアの東西をつなぐ交易がさかんに行われ、多くのオアシス都市が繁栄した。そうした交易を担ったのは、唐の長安でもさかんに活動していたイラン系の(3)人で、その言葉が各地で使われるようになった。中心都市の一つはサマルカンドで、インドへの途中、(4)も訪れたことがある。その様子を紹介した『大唐西域記』では「康国」と記載されている。

中央アジアの状況を変化させたのは、イスラーム世界の拡大で、(5)と唐のあいだで751年に起きたタラス河畔の戦いはその象徴であった。その後、オアシス都市のブハラを首都とするイラン系の(6)が西トルキスタンを統治したが、イスラーム化したトルコ系のカラハン朝によって滅ぼされた。こうした興亡の中で、ブハラ近郊で生まれた(7)が著した『医学典範』は、ヨーロッパの各地で医学の教科書として用いられた。

中央アジアの状況を再び変化させたのは、13世紀のモンゴル帝国の拡大で、サマルカンドやブハラなどのオアシス都市が破壊された。モンゴル帝国がいくつかのハン国に分かれると、中央アジアは、そのうちの(8)の統治下におかれた。その後、モンゴル帝国の再興をめざした(9)はロシア、イラン、インドなどへもさかんに遠征を行って版図を拡大し、明への遠征の途上で亡くなった。この帝国の第4代の君主の(10)は、トルキスタン文化の黄金時代を代表し、自らも占星術や天文学で傑出した業績を残した。

問 1 (1)に入る地名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク

- しなさい。 1
- ① 陝西 ② 青海 ③ 西藏 ④ 新疆 ⑤ 雲南

問 2 (2)に入る語句として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク

- しなさい。 2
- ① 契丹 ② 匈奴 ③ 突厥 ④ 大月氏 ⑤ 柔然

問 3 (3)に入る語句として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク

- しなさい。 3
- ① バクトリア ② エフタル ③ ソグド
④ スキタイ ⑤ ホラズム

問 4 (4)に入る人名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク

- しなさい。 4
- ① 法顕 ② 玄奘 ③ 張騫 ④ 班超 ⑤ 義浄

問 5 (5)に入る語句として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク

- しなさい。 5
- ① ウマイヤ朝 ② ブワイフ朝 ③ アッバース朝
④ オスマン朝 ⑤ アイユーブ朝

問 6 (6)に入る語句として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク

- しなさい。 6
- ① サーマーン朝 ② サファヴィー朝 ③ マムルーク朝
④ ガズナ朝 ⑤ ゴール朝

問 7 (7)に入る人名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク
しなさい。 7

- ① イブン・ハルドゥーン ② イブン・バットウータ
③ イブン・ルシュド ④ イブン・シーナー

問 8 (8)に入る国名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク
しなさい。 8

- ① イル・ハン国 ② ヒヴァ・ハン国
③ チャガタイ・ハン国 ④ コーカンド・ハン国

問 9 (9)に入る人名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク
しなさい。 9

- ① バーブル ② ティムール
③ アクバル ④ イスマーイール

問10 (10)に入る人名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク
しなさい。 10

- ① ウルグ・ベク ② メフメト 2 世
③ ホスロー 1 世 ④ ホラズム・シャー

B 1900年前後の東アジアをめぐる国際的な状況を説明した次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

列強諸国の勢力拡大と日本の台頭の中で、東アジアの社会は不安定な状況にあった。日清戦争後の朝鮮では、1897年に国王の高宗が国号を大韓帝国にあらため、諸外国の干渉の中で、独立の維持に腐心していた。この時期、宮廷内では日本との連携をめざす勢力と(1)との連携をめざす勢力との対立が深刻であった。

中国では、(2)のもとで政治改革の動きが起こった。1898年、改革派の康有為や(3)らが登用され、その改革には科擧の試験科目の改変なども含まれていた。しかし、保守派が西太后のもとに結集して、改革は失敗に終わった。この時期、1898年にドイツが宣教師の殺害事件をきっかけとして、(4)の租借権を獲得すると、他の列強諸国も勢力拡大をはかり、(5)は山東半島の威海衛を租借した。

列強諸国の中国における勢力拡大の中で、1899年にアメリカ合衆国の國務長官ジョン・ヘイは、中国市場の門戸開放と機会均等をうたう宣言を発表し、その動きをけん制した。一方、米国の(6)大統領は、キューバのハバナでおきた軍艦の爆沈事件をきっかけとして、スペインに宣戦を布告し、米国が勝利して(7)は米国の領土となった。

キリスト教の布教に反発する義和団が北京に進出して各国公使館を包囲すると、8カ国は、共同で出兵した。その後、満洲への軍隊の駐屯を続けるロシアと⁽⁸⁾日本の対立が深刻になって、1904年に日露戦争に発展した。戦争は日本が勝利し、(9)で講和条約が結ばれた。

日本の朝鮮半島における勢力が拡大する中で、1907年、朝鮮国王の高宗は、(10)で開催された第二回万国平和会議に密使を送り、日本の干渉に対応しようとしたが、参加国はこれを拒絶した。

問11 (1)に入る国名としても最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 **11**

- ① フランス ② アメリカ合衆国 ③ イギリス
④ ロシア ⑤ ドイツ

問12 (2)に入る人名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 **12**

- ① 咸豊帝 ② 宣統帝 ③ 光緒帝 ④ 同治帝 ⑤ 順治帝

問13 (3)に入る人名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 **13**

- ① 袁世凱 ② 孫文 ③ 李鴻章 ④ 梁啓超 ⑤ 林則徐

問14 (4)に入る地名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 **14**

- ① 旅順 ② 広州湾 ③ 膠州湾 ④ 大連 ⑤ 天津

問15 (5)に入る国名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 **15**

- ① ロシア ② フランス ③ 日本
④ イギリス ⑤ ポルトガル

問16 (6)に入る人名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 **16**

- ① クリーブランド ② セオドア・ローズヴェルト
③ フランクリン・ローズヴェルト ④ マッキンリー
⑤ アイゼンハワー

問17 (7)に入る地名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク

しなさい。 **17**

- ① アラスカ ② メキシコ ③ カリフォルニア
④ グアム ⑤ テキサス

問18 下線部(8)の8カ国に該当する国として誤っているものを一つ選び、その番号

をマークしなさい。 **18**

- ① オランダ ② オーストリア ③ イタリア **日本**
④ フランス ⑤ アメリカ合衆国

問19 (9)に入る地名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク

しなさい。 **19**

- ① サンフランシスコ ② **ポーツマス**
③ ロンドン ④ ウィーン
⑤ ワシントン

問20 (10)に入る地名として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク

しなさい。 **20**

- ① ワシントン ② ロンドン ③ **ハーグ**
④ モスクワ ⑤ ウィーン

[Ⅲ] 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。引用した資料には、省略したり、改めたりしたところがある。解答用紙は(その1)を使用すること。

ヨーロッパの18世紀は啓蒙の世紀と言われる。啓蒙の時代の知識人は、人間理性を積極的に行使することを重視し、それまでの社会のあり方に変化を迫り、ヨーロッパ全体で社会改革を促した。

17世紀に「黄金の世紀」を迎えたオランダ(ネーデルラント)、ブルボン朝においてヨーロッパ文化の中心地となったフランス、ピューリタン革命と名誉革命という2度の革命を経験したイギリスでは、消費社会の発展、コーヒーハウスやサロンなどの社交の場、新聞・雑誌などの出版メディアを通じて形成された世論(公論)が、社会改革の原動力となった。

フリードリヒ2世のもとで強国となったプロイセン、マリア・テレジアとヨーゼフ2世が改革を進めたオーストリア、エカチェリーナ2世が改革を進めたロシアでは、啓蒙思想家と親交を持つ啓蒙専制君主が改革の主体となった。ただしどの地域においても、改革すべき「野蛮」とみなされた大部分の民衆や女性にとって、啓蒙は権威主義的で抑圧的な統制を意味してもいた。また、ポーランドでは、啓蒙主義に基づく改革が、分割への抵抗と並行して生じた。

18世紀はまた、戦争の世紀でもあった。その中心には、フランスとイギリスの対立があった。さらに18世紀半ばまでにプロイセンとロシアが台頭し、ヨーロッパでは戦争が続いた。スペイン継承戦争、オーストリア継承戦争、七年戦争、アメリカ独立戦争、フランス革命戦争、ナポレオン戦争が、その代表的な例である。

また、ヨーロッパ各国の対立は、北米、カリブ海、インド、アフリカなどにおける海外植民地争奪戦でもあった。ヨーロッパには海外産物が流入し、消費された。非ヨーロッパに関する知識や情報も増加した。植民地帝国の拡大は、産業革命を促す要因ともなった。

農

問 1 下線部(a)について、穀物取引の自由化を主張して、重商主義政策を批判した人物の名前として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 [21]

- ① デイドロ
- ② ルソー
- ③ ケネー
- ④ マルサス

問 2 下線部(b)に関連して、「黄金の世紀」と呼ばれた17世紀のオランダで活躍した画家として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 [22]

- ① レンブラント
- ② ラファエロ
- ③ デューラー
- ④ クールベ

問 3 下線部(c)に関連して、アカデミー・フランセーズの設立当初の目的について述べた文として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 [23]

- ① 商工業育成のための知識を広めること。
- ② オペラ、交響曲、協奏曲などを広めること。
- ③ 自然科学の研究を推進すること。
- ④ フランス語の規範を定めること。

1732/12
フランス
科学院

フランス
科学院

問 4 下線部(d)に関連して、以下の資料は、1689年にウィリアム3世とメアリ2世が承認した権利の章典の一部である。この資料から読み取れることについて述べた文として最も適切なもの一つを選び、その番号をマークしなさい。

24

- ・国王大権を口実として、議会の承認なしに、王の使用のために税金を課すことは、違法である。
- ・議会が同意しない限り、平時に王国内で常備軍を徴募し維持することは、法に反する。
- ・国会議員の選挙は自由でなければならない。
- ・議会での言論の自由、および討論・議事手続について、議会以外のいかなる場でも、非難されたり問題とされたりしてはならない。
- ・すべての苦情を取り除き、法を修正・強化・保持するため、議会はしばしば開かれなければならない。

- ① 国家の財政に関する決定を行う際に、議会の承認が必要になった。
- ② 軍隊がすべて志願兵で構成されるようになった。
- ③ 議員の信教の自由が保証された。
- ④ 議会を毎年開催することが決められた。

問 5 下線部(e)に関連して、フリードリヒ 2 世の事績について述べた文として誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 [25]

- ① ユンカー(地主貴族)を、将校や高級官吏から排除した。
- ② 信教の自由を容認した。
- ③ 著書の中で、「君主は国家第一の下僕」と書いた。
- ④ ロココ様式のサンスーシ宮殿を建設した。

問 6 下線部(f)について、ヨーゼフ 2 世の事績について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 [26]

a プロテスタントに信教の自由を認めた。

b 農奴制を強化した。

- ① a — 正 b — 正
- ② a — 正 b — 誤
- ③ a — 誤 b — 正
- ④ a — 誤 b — 誤

問 7 下線部(g)について、エカチェリーナ 2 世の事績について述べた文として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 [27]

- ① 農奴解放令を発布した。
- ② ステンカ・ラージンの農民反乱を鎮圧した。
- ③ ラクスマンを日本に派遣した。
- ④ 清朝と、ネルチンスク条約を結んだ。

問 8 下線部(h)について述べた文として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 28

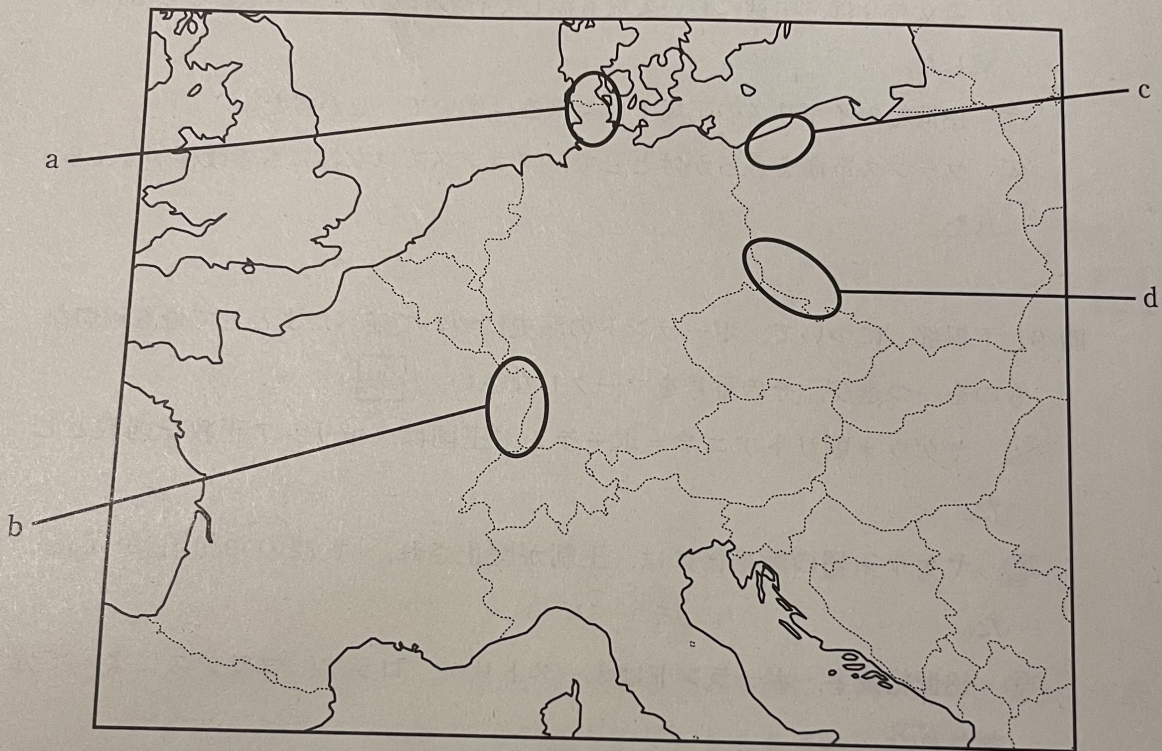
- ① 18世紀のフランスでは、上流階級の女性が主宰するサロンが流行した。
- ② 魔女狩りは、中世において最も激しく行われたが、科学革命とともに消滅した。
- ③ 18世紀のイギリスの工場では、女性は働いていなかった。
- ④ フランス革命をきっかけとして、フランスでは女性にも参政権が与えられた。

問 9 下線部(i)について、ポーランドの歴史について述べた文として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 29

- ① ヤゲウォ朝リトアニア=ポーランド王国は、ギリシア正教を国教とした。
- ② ヤゲウォ朝の断絶後には、王制が廃止され、「貴族の共和国」が成立した。
- ③ 18世紀後半、ポーランドはオーストリア、ロシア、フランスによって分割された。
- ④ 分割されたポーランドの独立が承認されたのは、パリ講和会議においてであった。

七年戦争 1756

問10 下線部(j)について、この戦争の結果としてプロイセンの領有が確定した地域のおおよその場所を示す記号として最も適切なものを、下の略地図中の a ~ d から一つ選び、その番号をマークしなさい。 30



(注) 地図中の国境線は現在のものである。

① a

② b

③ c

④ d

9

問11 下線部(k)に関連して、ヨーロッパ各国による南アジアあるいは東南アジアの植民地化について述べた文a～dについて、正しいものの組合せを一つ選び、その番号をマークしなさい。 31

- a イギリスは、インドに、ザミンダーリー制やライヤットワーリー制を導入した。
- b イギリスは、インドにおいて、インド大反乱をきっかけとして、藩王国を廃止した。
- c オランダは、ウィーン会議の後、シンガポールを植民地化した。
- d オランダは、ジャワ島に、強制栽培制度(政府栽培制度)を導入した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問12 下線部(l)に関連して、大西洋奴隷貿易について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 32

- a アフリカの諸王国は、ヨーロッパから武器や綿布などを輸入し、南北アメリカ大陸に向けて奴隷を輸出した。
- b ヨーロッパ各国やアメリカ合衆国における奴隷制が廃止された結果として、クーリーと呼ばれるアジア系移民の契約労働者が増加した。

- | | | |
|---|-------|-------|
| ① | a — 正 | b — 正 |
| ② | a — 正 | b — 誤 |
| ③ | a — 誤 | b — 正 |
| ④ | a — 誤 | b — 誤 |

問13 下線部(m)に関連して、欧米による探検旅行について述べた次の文 a~c が、年代の古い順に正しく配列されたものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 33

1900?
a アメリカのピアリが、北極点に到達した。

b オランダ東インド会社が派遣したタスマンが、ニュージーランドに到達した。

19c後
c イギリスのリヴィングストンが、アフリカでヴィクトリアの滝を発見した。

① a → b → c

③ b → a → c

⑤ c → a → b

② a → c → b

④ b → c → a

⑥ c → b → a

[IV] 次の設問A, Bのうちから一つを選び、答えなさい。設問記号欄に選択した問題の記号(AあるいはB)を記すこと。解答用紙は(その3)を使用すること。

【A】 7世紀後半から10世紀にかけてのイスラーム諸王朝の展開とその性質の変化について、350字以内で論じなさい。以下の語句をすべて使用し、初出の箇所には下線を引くこと。

<語句>

バグダード アッバース朝 ムアーウィヤ ダマスクス
イスラーム帝国 ジズヤ(人頭税) 後ウマイヤ朝

【B】 資料1と資料2を読み、その内容について触れ、16~17世紀のヨーロッパにおける宗派対立の展開について、350字以内で論じなさい。資料の後に示されている語句をすべて使用し、初出の箇所には下線を引くこと。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資料1 アウクスブルクの宗教和議(一部)

第3条 …皇帝陛下並びにわたしたち、神聖なる帝国の選帝侯、諸侯、等族は、帝国のいかなる身分の者に対しても、アウクスブルク信仰告白のゆえに、また、その教義、宗教、信仰のゆえに、暴力を加えたり、損害を与えたり、迫害をしてはならない。

第4条 それに対して、アウクスブルク信仰告白に属している等族は、ローマ皇帝陛下並びにカトリックに属している神聖なる帝国の選帝侯、諸侯、そのほかの等族に対して、…同じように、彼らの宗教、信仰、教会慣習、(中略)を邪魔されることなく保持し、…
(以下略)

第5条 しかしながら、前述の二つの宗教に帰服していないすべてのほかの者は、この和議に含まれず、完全に除外される。

資料2 ウェストファリア条約(一部)

第8条第1項 ローマ帝国のすべての選帝侯、諸侯、等族は、彼らの古き諸権利、諸自由、諸特権の自由な行使につき、教会および世俗の事柄において、また支配権限や国王大権やそれらの占有において、誰からも、いつ何時でも、いかなる口実によっても実際に妨害されえないこと、またそれが許されないことを、この条約により確定し、承認する。

<語句>

カトリック

カルヴァン派

主権国家体制

ウェストファリア条約

ルター

三十年戦争

アウクスブルクの宗教和議

訂正

試験日 2024年2月14日
文学部史学科
一般選抜
世界史

6ページ (II) A

下から2行目

誤) この帝国

正) (9)が建てた帝国

12ページ (III)

下から6行目

誤) (k)ナポレオン戦争

正) ナポレオン戦争

下から4行目

誤) インド

正) (k)インド

18ページ 問12 文a

誤) a アフリカの諸王国は、ヨーロッパから武器や綿布などを輸入し、南北アメリカ大陸に向けて奴隷を輸出した。

正) a アフリカの諸王国では、南北アメリカ大陸から移送された大量の奴隷が、綿花やサトウキビのプランテーションにおいて使役された。